

2021 年度ゼミ (4001 演習 3A/4002 演習 3B) 要覧

担当者名	岩村英之
演習テーマ	経済学・統計学を携えて社会に出よう！
内容 と 卒業論文の 指導方針	<p>演習 2A/B に続き、ミクロ経済学と統計学を勉強していきます。さらに、演習 3A/B ではそれらを駆使して自らの問いを考察し、ひとつの論文の形にまとめる一連の流れを経験してもらいます。</p> <p>なお、卒論で取り組む問いは典型的な経済問題である必要はありません。文化や歴史、(経済以外の) 社会に分類されるような問題であっても、「需要と供給」、「均衡」、「資源配分」、「インセンティブ」といった経済学の概念・分析道具を用いて考察することは可能です。本ゼミでは、経済学の方法を重視します。</p> <p>卒業論文は、あくまで学術論文への橋渡しと考えています。従って、卒論指導においては以下の基準を重視します。</p> <p>(1) 自分の問いに関連する既存研究 (評価の定まったものだけでよい) を理解し、自分なりの言葉・文脈で整理できているか。  (2) 自分の論文の意義を、既存研究との関連において主張できているか。  (3) データや既存研究を用いて論理的に仮説の検証を行っているか。</p> <p>意外にも、他人の研究を探し出し、そして理解することが自分の論文作成作業の多くを占めることになるでしょう。</p>
メール・アドレス	iwamura@k.meijigakuin.ac.jp
オフィス・アワー	まずはメールでご連絡ください。
授業概要	<p>個別の発表とグループディスカッションを通じて、各自の問いを絞り込んでいきます。グループディスカッションにおける他のゼミ生からの質問は、各自が問いを絞り込んでいく過程で重要な役割を果たします。他の人からの素朴な質問は、それまで当たり前だと思い込んでいたことが実は当たり前でない気づかせてくれ、問いを深化させ、特定化していくきっかけとなります。個別の発表は、それまでの自分の作業を整理するきっかけとなり、これから進むべき方向性を決めるのに役立ちます。</p> <p>これに加えて、多くの人が直面するであろう統計分析の結果の読み方についても学びます。</p>
学習目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分で問いをみつけ、論理とデータ (既存研究を含む) を用いて一応の答えを出す経験を積む。</li> <li>・できる限り数字によって議論する方法を習得する。少数の、しかし印象深い事例に惑わされないようになる。</li> </ul>

授業計画	<p>【第1回】ガイダンス</p> <p>【第2回】～【第4回】第1回卒論の中間報告</p> <p>【第5回】～【第12回】グループディスカッション</p> <p>*適宜、卒論の構成や過去の卒論例について説明します。</p> <p>【第13回】～【第15回】第2回卒業論文の中間報告</p> <p>【第16回】ガイダンス</p> <p>【第17回】～【第19回】第3回卒業論文の中間報告</p> <p>【第20回】～【第23回】グループディスカッション</p> <p>*適宜、卒論の構成や過去の卒論例について説明します。</p> <p>【第24回】卒論の形式に関する注意</p> <p>【第25回】～【第27回】第7回卒業論文の中間報告(2)</p> <p>【第28回】卒論最終報告(1)</p> <p>【第29回】卒論最終報告(2)</p> <p>【第30回】卒論最終報告(3)</p>
予習	それまでの1週間に自分の考えたことを整理してきてください。具体的には、「どのような論文を読み、何を考え方」や、「どのようなデータを探した/見つけ、何がわかったのか」を整理しておきましょう。
復習	毎回、その日のディスカッションで得たフィードバックや見つけた課題をmanabaの掲示板に書き込むようにしてください。
授業に関する注意事項	ひとの論文にアドバイスするのは難しいですが、何か質問をすることはできるのではないのでしょうか。意外にも、素朴な質問が考えを深めるきっかけになるものです。お互いに、「こんなこと聞いたら失礼かな」などと遠慮をしないで、積極的に質問をぶつけあいましょう。
教科書	明治学院大学教養教育センター『アカデミックリテラシー ハンドブック』各年版
参考書	酒井聡樹 (2007) 『これからレポート・論文を書く若者のために』 共立出版
成績評価の基準	発表内容と議論への参加 (70 パーセント)、および各学期 1 回の卒論に関するタームペーパー (30 パーセント) で評価します。
関連 URL	<a href="http://hide-iwamura.sakura.ne.jp/website/">http://hide-iwamura.sakura.ne.jp/website/</a>
備考	すでに 17 名在籍しています。演習 3 は卒論がありますので、演習 1 や演習 2 と違って、「人数」の増加はひとりあたりの指導にかけることのできる時間にダイレクトに影響します。